



図書館でよく読まれた本(ベストリーダー)2004

2004年度に図書館でよく読まれた本、ベストリーダーは資料①(p.5～6)のとおりです。貸出回数が多い本のランキングですが、中央図書館と和泉図書館は文庫本が上位を占め、生田図書館は授業に関連した参考書が多数を占めていることがわかり、興味深い結果となりました。

1. 中央図書館

新潮文庫が21冊と圧倒的に多く、角川文庫2冊、新潮新書1冊、地球の歩き方(『フランス』)1冊は、新書文庫コーナーに配架されているもので、このコーナーがよく利用されていることがわかります。残りの2冊のうち専門書はシラバスに載った有斐閣双書の『民法(1)総則』のみと寂しい結果です。

2. 和泉図書館

角川文庫が17冊と多く、新潮文庫4冊、文春文庫2冊と続き、これらは新書文庫コーナーに配架されています。テレビや映画のシナリオを小説化したノベライズが3冊登場し、中央図書館よりも軽めの小説、エッセイに人気のあることがわかります。文庫本以外では経済学の入門書である『初心者のためのやさしい経済学』、『経済のしくみ』、フランス語の文法書である『現代フランス広文典』などです。

3. 生田図書館

新潮文庫が5冊、他の16冊は理工学部や農学部に関連した専門書や入門書です。うち6冊がシラバスに載る参考書であり、授業に関連した本が利用されていることがわかります。大学図書館としての特徴がよくでていえます。

ベストリーダーの傾向は、文芸書が上位を占める公共図書館と同様です。三鷹市立図書館の2004年度ベストリーダー(資料②, p.6)は文芸書が大半であり、宮部みゆきと横山秀夫の著作に人気が集中しています。本学では、中央図書館は江国香織、宮部みゆき、村上春樹、吉本ばなな、和泉図書館は赤川次郎、さくらももこ、北川悦史子、中村うさぎ、生田図書館は江国香織、宮部みゆきの著作がよく読まれ、学生に人気のある作家のリストができそうです。

文芸書の文庫本が本学では上位にランクされていますが、ベストリーダーの総数は、中央図書館では533回の貸出があり、昨年度の貸出冊数は約19万冊ですから、全体のわずか0.27%に過ぎません。

昨年11月に実施した「図書館利用者アンケート」でも、利用者の要望は幅広いものがあり、よく利用する資料としては、「開架図書」や「書庫内図書」、「辞書参考図書」などが上位にランクされています。

設問 良く利用する資料は何ですか。(複数回答可)

中央-開架31.4%	書庫内図書15.6%
雑誌10.9%	インターネット10.5%
文庫新書10.3%	
和泉-開架31.8%	新聞14.8%
文庫新書14.8%	書庫内図書11.9%
辞書参考図書11.1%	
生田-開架39.7%	辞書参考図書18.1%
新聞12.8%	書庫内図書9.2%
雑誌7.5%	文庫新書5.6%

また、充実させて欲しい資料としても、和泉図書館では「文庫新書」が上位ですが、「専門書」や「資格取得関連」の要望が中央図書館・生田図書館では多いことがわかります。

設問 充実させてほしい資料はどのようなものですか。(複数回答可)

中央-専門書30.5%	資格取得関連15.9%
文庫新書15.3%	一般教養書14%
和泉-文庫新書21.7%	専門書18.6%
資格取得関連18.3%	
一般教養書14.5%	
生田-専門書31.5%	資格取得関連16.6%
文庫新書15.4%	一般教養書14%

アンケートや貸出回数の統計結果から、図書館に求められているものは、各地区の特性に基づき教育・研究に必要な資料の充実をはかり、そのうえでよく読まれる文庫新書を揃え、利用者の要望に応えることにあるといえます。